

平成十三年卒業論文題目

- 岸川 浩明 曾我物語が現代まで語り継がれる理由  
 富 沙織 兼好の人間観  
 成吉 祐二 『梟の城』論  
     ― 主人公重蔵の人間性について  
 石川 博子 『竹取物語』の起源  
     ― 日中の民俗を視座に―  
 井崎 耕平 星新一の作品論  
 石松 樹 辻邦生 ― 『夏の砦』について―  
 崔 洪寛 川端康成の『古都』について  
 鳥峯 大輔 色川武大と阿佐田哲也  
     ― 二つの顔を持つ男  
 谷口 北斗 谷崎潤一郎の美意識  
 鄭 香花 川端康成の『雪国』について  
 仁田原直也 『戦艦大和ノ最期』考  
 東園 尚美 太宰治の女性独白形式の文学について
- 松永 香織 遠藤周作の『深い河』について  
 村谷 彰代 『春と修羅』と宮澤賢治  
 熊 経陽 夏目漱石の『こころ』について  
 木山 貴裕 菊池寛論  
 溝上 秀一 夏目漱石論  
     ― 漱石の描いた「新しい女」―  
 淵上 啓之 中島敦論  
     ― 血統と臨書の表現―  
 上野友美恵 太宰治論  
 李 鍾珉 日本語格助詞研究  
 江藤 義英 北九州地域の社会言語学的研究  
 風岡 紗佐 可能表現の社会言語学的研究  
     ― 大分方言を中心に―  
 久米佐綾香 日本語のアスペクト研究  
 阪口 和也 宮崎方言の国語的研究  
 多田 洋子 豊前式アクセントについて  
 陳 智強 日本語の条件表現の研究  
 野口 友紀 天草諸島方言の国語学的研究  
 平川みゆき 島原半島の二拍名詞のアクセント

吹上 淳子 北九州方言の社会言語学的研究

村津 卓二 福岡方言における文末詞表現

— 「バイ」・「タイ」を中心に —

古賀 菜穂 額田姫王

小林 純也 『源氏物語』以外の紫式部

高田 直子 万葉集卷一の五一番歌について

友久 亮 在原業平について

中本 智之 清少納言について

永田亜希子 小野小町について

増田 貴光 西行の出家と和歌について

李 淑琪 漢詩文の閨怨詩及び『万葉集』の相聞表現

について